

**平成 27 年度に係る業務の実績に関する評価結果**  
**国立大学法人室蘭工業大学**

**1 全体評価**

室蘭工業大学は、国際的通用性をもった科学技術者の育成、科学技術分野における知の創造、社会を先導する科学技術に関する教育研究を推進し、学術研究成果を積極的に発信することによる地域発展への貢献を目指している。第2期中期目標期間においては、柔軟な研究領域を組織し、特色ある研究の展開と特定分野における研究の高度化を推進すること等を目標としている。

この目標達成に向け、学長のリーダーシップの下、研究領域内の基盤的研究をより推進するため、各領域の研究ユニットに対し、業績評価や研究計画評価を踏まえた研究費の傾斜配分による支援のほか、アルツハイマー病をはじめとする神経変性疾患の予防に関する研究を推進するなど、「法人の基本的な目標」に沿って計画的に取り組んでいることが認められる。

**大学の機能強化に向けた取組の状況について**

学長のリーダーシップの下、学長の特命事項を企画・立案するとともに、戦略的な大学運営の検討及び重要な施策の企画を行う組織として新たに「企画戦略会議」を設置したほか、より戦略的な大学運営を行うことを目的に、平成28年度から副学長（総務担当）及び国際交流の特命事項を担当する理事補各1名を新たに配置することを決定している。

## 2 項目別評価

### <評価結果の概況>

	特 筆	順 調	おおむね 順調	やや遅れ	重大な 改善事項
(1) 業務運営の改善及び効率化		○			
(2) 財務内容の改善		○			
(3) 自己点検・評価及び情報提供		○			
(4) その他業務運営		○			

### I. 業務運営・財務内容等の状況

#### (1) 業務運営の改善及び効率化に関する目標

①組織運営の改善、②事務等の効率化・合理化

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載23事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められるとともに、下記の状況等を総合的に勘案したことによる。

平成27年度の実績のうち、下記の事項が注目される。

#### ○ 教員選考過程の改善及び効率化

学長、理事、副学長で構成される「企画戦略会議」が決定した人事戦略に基づいて、優秀な教員の選考を行うため、選考方法を全面的に見直し、新たな教員選考方法を確立している。これにより、学長のリーダーシップの下で効率的な教員選考が可能となっている。

#### (2) 財務内容の改善に関する目標

①外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加、②経費の抑制、③資産の運用管理の改善

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載10事項すべてが「年度計画を十分に実施している」と認められるとともに、下記の状況等を総合的に勘案したことによる。

平成27年度の実績のうち、下記の事項が**注目**される。

### ○ 外部資金獲得に向けた組織的支援と成果

研究推進室とリサーチ・アドミニストレーション機能を有する社会連携統括本部が連携し、各種研究助成金等の公募情報の周知や競争的外部資金の申請支援を行うことで、科学研究費助成事業、受託研究、民間等との共同研究及びその他の補助金等を合わせた件数は261件となり、法人化以降最高額の合計約9億300万円（対前年度比約1億6,400万円増）を獲得している。

### ○ 寄附金収入の拡大に向けた取組

寄附金収入を拡大するために、外郭団体を通じた寄附依頼から大学が直接依頼する方法に変更したほか、寄附の際の手数料無料化、寄附者の顕彰対象を拡大するなど、寄附を促す環境を整えた結果、平成26年度に比べ212万円の増収となっている。

## **(3) 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標**

①評価の充実、②情報公開や情報発信等の推進

**【評定】** 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載4事項すべてが「年度計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

## **(4) その他業務運営に関する重要目標**

①施設設備の整備・活用等、②安全管理、③法令遵守、④情報化

**【評定】** 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載8事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

## Ⅱ. 教育研究等の質の向上の状況

---

平成27年度の実績のうち、下記の事項が**注目**される。

### ○ 地域連携を通じた神経変性疾患の予防に関する研究の推進

アルツハイマー病をはじめとするアミロイド病の予防や治療に有用であるアミロイド凝集阻害物質を微量かつハイスループットで効率的にスクリーニングできる新規手法を開発し、シソ科の植物チリメンアオジソにアルツハイマー病を抑制する成分が含まれていることを発見している。この研究成果が発端となり、シソが特産である白糠郡白糠町と包括連携協定を締結し、同町の全面協力の下、研究を推進していくことで合意している。

### ○ 小中高生に対する理工系分野の啓発活動

小中学生を対象に「室工大サイエンススクール」や若手研究者会による科学実験や出前授業を実施しているほか、高校生を対象に日本鑄造工学会との共催で「理系学生応援プロジェクト」を実施するなど、小中高生の科学やものづくりに対する関心・素養の向上を図っている。